



2022年6月1日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹



太陽生命、「戸田建設株式会社」が発行する

「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、戸田建設株式会社（以下、「同社」）が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（以下、「本債券」）への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

本債券は、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標（以下、「SPTs」）の達成状況に応じて、グリーン電力証書の購入、適格寄付先への寄付を行うものであり、脱炭素化を推進し、持続可能な社会の実現への貢献を目指すものです。

本債券は、国際資本市場協会（ICMA）公表の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（2020）」に準拠した同社サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークに基づく取り組みであり、国際的イニシアチブSBT（Science Based Targets）認定要件を参考として、同社が設定する温室効果ガス（以下、「GHG」）総排出量削減率をSPTsとしています。

<概要>

発行体：戸田建設株式会社

名称：サステナビリティ・リンク・ボンド（R&I格付：A-）

発行総額：100億円

償還期間：10年

SPTs：SBTにて定めるScope 1, 2, 3について、以下のとおりのSPTsとする。

SPT-1	SBTにて定めるScope 1, 2のGHG排出総量の削減率で2030年度末に2020年度比42%削減
SPT-2	SBTにて定めるScope 3のGHG排出総量の削減率で2030年度末に2020年度比25%削減

債券特性：SPTs未達時における所定のグリーン電力証書の購入、適格寄付先への寄付

SDGs：本債券における同社SPTs達成を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(*)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取り組みを進めてまいります。

以上

^(*) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。